

刑 法 (100点)

第1問

A(甲の長男で22歳)は、粗暴な性格で酒癖が悪く、たびたび飲酒酩酊して家族に傷害を負わせるほどの暴行に及び、そのたびに甲(Aの母で50歳)は乙(甲の次男で20歳)やB(甲の長女で24歳)とともに、体格がよく力の強いAの興奮が鎮まり、暴行に及ぶ危険がなくなるまでの間、体を押さえつけることにより対処していた。

そのようなことが1年あまり続いたある日の夕方、乙がコンサートに出かけるため家を出ようとしたところ、少し前に飲酒酩酊して帰宅したAが、冷蔵庫にビールが入っていないことに激怒し、台所にいた甲のところまで行くや否や、「なんでビールを冷やしてないんだ。」などとわめきながら殴る蹴るの暴行に及んだので、乙は2階にいたBを呼び、甲、乙、Bは、「またしばらく押さえておこう。」と口々に言い合いながら、乙においてAを台所のフローリングの上に足払いをかけて転倒させ、3人で押さえ込みにかかった。

ところが、乙は、Aの振る舞いにより、プレミアムチケットを入手し前々から楽しみにしていたコンサートに間に合わないことが確実となったことから、激しい怒りの感情を抑えることができず、呼吸を困難にするほどの強さでAの頸部を締め付けたため、Aは窒息死するに至った。

この際、甲およびBは、Aが少しでも力を抜くと再び暴行に及ぼうとするため、いつも通りの強さで押さえていたが、乙およびAとの位置関係のために、乙がAの頸部を強く締め付けていることに気づいていなかった。

甲・乙の罪責を論じなさい。

第2問

46歳の甲女は、年少者をさらって自分の子として育てようと思い、下校途中の小学1年生Aを自己の運転する車に無理やり引き入れて自宅に連れ帰った。車に乗せられる際、Aは手首に全治1週間の打撲傷を負った。

甲は外から鍵のかかる部屋にAを閉じ込めたが、Aが泣きわめいて暴れるので、Aに包丁を突き付け、「おとなしくしないと殺すぞ。」と脅して黙らせた。

しかし、常時Aを脅しているわけにはいかず、Aをなだめる必要があると考えた甲は、スーパーマーケットBに行き、子供向けの菓子や玩具を買うことにしてこれらを大量にレジに持参した。甲をよく見かける店員Cは、「がらにもない物を買いますね。」と声をかけた。甲は激怒したが、黙って支払いをすませた。

帰宅後、甲はCの態度を思い出して激昂し、Bに嫌がらせをしようと考えた。甲は台所から消費期限を大幅に超過したカップ麺や腐りかけた果物を探し出し、これらをひそかに携えて再びBに赴き、いくつかを一般の商品に紛れ込ませた。ところが、腐りかけた果物を棚に置こうとしたところ、Cに見つかり、Cは「変な物を置くな!」と叫んで甲をつかまえようとした。甲は慌てて店外に逃げ出したが、Cに服をつかまれ、もみ合いになった。そこにたまたま、甲の昔の交際相手である乙が通りかかったので、甲は「助けて。」と乙を呼んだ。乙は、甲が万引きを目撃されてCともみ合いになっていると考え、甲を逃がすためにCを激しく殴打して甲から引き離し、甲の手を引いて逃走した。

甲・乙の罪責を論じなさい。